

専門ゼミB		演習	教授 白井 雅人	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21300302	

1. テーマ

ICT（情報通信技術）への理解を深め、社会に通用する創造的発信力を獲得する。

2. ゼミのねらい・概要

現在の社会では、さまざまな場面で情報を適切に入手しながら課題を解決し、さらにみずから発信していく力がますます求められている。本ゼミでは ICT 分野の基礎知識に基づいたメディアリテラシーを養い、デザイン思考・アート思考的な手法による課題解決者となることを第一の目標とする。また ICT 分野や経営学分野に関する基本文献の講読、さまざまな課題についてのグループワークなどを通じて、アカデミック・スキルの基礎を修得する。計画を立て、研究し、さまざまなかたちで発表するという課題を繰り返しこなすことによって、大学に学ぶ者として修得すべき表現手法を身に付けてゆく。これによって卒業研究に向けた基盤を作るとともに、社会の中で通用する総合的な創造的発信力を身に付けることを最大の目標とする。

後期のゼミでは、とくに卒業研究に向けて自分の関心を発見し、それに基づいた個別の研究を進めてゆくことを中心とする。つねにプレゼンテーションとディスカッションによって互いに検討を加え深化させる。なお、各ゼミ生の関心は多岐にわたることが想定されることから、本ゼミの方針としてできる限り個別の問題意識を尊重しながら授業を進めてゆく。

3. ゼミ計画

ゼミ計画は、概ね以下のとおりとするが、ゼミメンバーの問題意識や関心・興味等を見極めながら適宜見直しを図る。

1. ガイダンス	9. 個別指導 第二グループ
2. 研究計画	10. 研究テーマの展開手法
3. 文献研究発表 第一グループ	11. 研究課題中間発表 第一グループ
4. 文献研究発表 第二グループ	12. 研究課題中間発表 第二グループ
5. グループワークによるテーマ研究	13. 個別指導 第一グループ
6. グループワークに基づく発表	14. 個別指導 第二グループ
7. 研究テーマの深化に向けて	15. 研究課題最終発表
8. 個別指導 第一グループ	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各自の設定したテーマについて、参考文献や資料等を収集し、それらを読んで十分に研究しておくこと。また授業におけるプレゼンテーションにおいてその概要を発表できるよう、発表資料等を準備しておくこと。課題については、期日までにそれを完成させること。これらは基本的にすべて授業外の時間に行うものであり、週に3時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

発表（プレゼンテーション）については、その都度個別に講評を行う。また個別指導の際にも研究の内容や進行について個別にコメントを行う。最終課題についても、不足点などを含む講評を発表時に行う。

6. ゼミにおける学修の到達目標

自らの関心に応じて研究テーマを設定し、その概要・内容を発表できるようになる。また研究の手法を身につけることによって進行した研究内容をレベルに応じて発表できるようになる。さらに最終課題として、学期終了時まで自らの研究をまとめあげ、創造的なかたちで完成させることを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミに対する取り組み姿勢（30%）、授業内課題（40%）、および最終課題（30%）

8. テキスト・参考文献

教科書として、宇野聖子、藤浦五月（2016）『大学生のための表現力トレーニング あしか：アイデアをもって社会について考える（レポート・論文編）』ココ出版，を使用する（予定）。その他必要な資料を配布するほか，参考文献については，その都度指示する。

9. 受講上の留意事項

出席のみならず，ゼミへの積極的な関与が求められる。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。